

- ・調査対象 全国の請求書を取り扱う業務を担当するビジネスパーソン
- ・調査方法 インターネット調査
- ・有効回答数 1,000人
- ・調査時期 2023年1月25日～2月3日

# インボイス制度の導入に不安を感じている 67.5%

電子帳簿保存法の改正や2023年10月導入予定のインボイス制度など、企業における会計業務は大きく変わろうとしている。

今回は請求書取扱い関連業務に従事している人を対象にした調査結果から、インボイス制度への対応状況と導入にあたっての意識についてみてみたい。

## インボイス制度導入に対応している…………… 72.5%

インボイス制度への対応については全体の7割強にあたる72.5%の人が「対応している」と回答しており、多くの事業者が10月の導入に向けて準備を進めていることが明らかになった。

一方で、制度の導入にあたっては不安を感じている人も多く、「とても不安を感じる」「やや不安を感じる」の合計比率は、67.5%となっている。

## 適切な対応方法がわからない…………… 46.1%

不安の内容としてもっとも多かったのが、「インボイス制度への適切な対応方法がわからない」46.1%、以下、「従来の請求書業務より工数が増える」41.5%、「インボイス制度と電子帳簿保存法を併せて検討しないといけない」34.8%の順となっている。

インボイス制度は、事業者間の取引の正確な消費税額と消費税率を把握することを目的としており、課税事業者、免税事業者ともに新制度への対応が求められるが、導入前後に多少の混乱が生じることが想像に難くない。

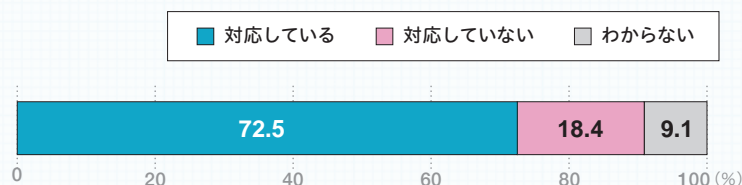
また、不安内容で3番目に多かった「電子帳簿保存法と併せて検

討」することは、会計業務のデジタル化への移行を意味するが、中小企業の多くはデジタル化対応に四苦八苦しているのが実情だ。

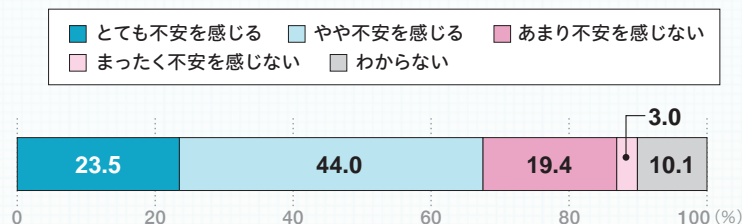
インボイス制度は、多くの事業者にとって不安を抱えながらのスタートとなりそうだ。

(インテリジェンスバリューコーポレーション株式会社 岩村克俊) ㊦

インボイス制度への対応状況 (n=1,000)



インボイス制度導入に対する不安の有無 (n=1,000)



インボイス制度導入に対する不安の内容【複数回答、上位3位まで】 (n=675)

